

大阪体育大学 V S 国士舘大学 15:30 KICK OFF

大阪体育大は、2年前にこの大会を制した坂本康博総監督が今季から復帰。「読み勝つ」「競り勝つ」「走り勝つ」をキーワードに、強化を図ってきた。坂本総監督は「攻撃的に守ることで主導権を握りたい」。主将の右MF⑧村田和哉(4年)はスピードがあり、好守でのキーマン。左SB⑤藤春廣輝(4年)は突破力があり、駆け上がって得点に絡みたい。人に強く、高さもあるDF④濱上孝次(2年)が守備の要。DF③菅原渉(2年)が右ひじのけがで大会に間に合わないことから、⑬鈴木健太(1年)か、⑮園田健人(1年)が、濱上とセンターバックを組む。

国士舘大は、高い位置からプレスをかけてボールを奪い、攻撃に転じるのが、目標とする得点パターンだ。細田三二監督は「相手陣地でボールを奪取して、素早くカウンターにつなげたい」と意気込む。FW⑪吉野峻光(3年)はU-19(19歳以下)日本代表になったことがあるなど能力は高い。ボールをキープでき、スピードもあるだけに、ゴール前では存在感を發揮しそうだ。右MF⑨金子昌広(2年)と左ボランチ⑩斎藤一行(4年)はともにドリブルなどのテクニックがあり、突破力がある。両サイドから攻めて相手守備網を崩し、得点機会を作りたい。

(読売新聞大阪本社 運動部 清水 裕)



提供：大阪体育大学



提供：国士舘大学

明治大学 V S 新潟経営大学 18:00 KICK OFF

明治大は、1月の全日本大学選手権で51大会ぶりに優勝するなど戦力は充実している。J1ジュビロ磐田に来季入団する⑩山田大記、⑦小林裕紀の4年生MF2人が軸。中盤から細かいパスをつないで組み立て、好機を演出したい。前線にも、関東リーグの前期で得点ランキングトップ(8ゴール)のFW⑪久保裕一(4年)らタレントがそろっている。今季は大学選手権連覇と総理大臣杯、関東リーグの3冠奪取を目標に掲げている。前評判は高いが、神川明彦監督は「挑戦者の気持ちで臨む」と慢心はない。ワールドカップ・南アフリカ大会に出場したOB長友佑都(23)(FC東京)の活躍もチームの励みになっている。

対する新潟経営大は、堅い守備が特長だ。今季、北信越リーグでは前期第5節を終わり、4勝1敗で2位。1失点で、DF⑥高橋直樹(4年)は身長174cmながら、ジャンプ力があって高い球にも強い。高橋とともにセンターバックに入る③山本謙一(3年)は、当たりの強さが持ち味だ。杉山学監督は「明治は手ごわいが、全員で守る意識を持って、組織力で対抗したい」。⑬田中剛(3年)とともに2トップを組む⑨ソロモン(3年)はガーナからの留学生。身体能力が高いだけに、そのプレーに注目が集まる。

(読売新聞大阪運動部 清水 裕)



提供：明治大学



提供：新潟経営大学

中京大学 VS 札幌大学 15:30 KICK OFF

3月のデンソーカップを制した東海・北信越選抜。その中核が中京大のメンバーだった。大会最優秀選手に選ばれたDF②森本良(4年)をはじめ、3人が大学選抜に選ばれるなど、能力の高い選手がそろそろ。森本はJ1名古屋の下部組織出身。本来センターバックだが、当たり負けしない体の強さを生かし、アンカーの位置でピンチの芽を摘む。今季からJ1名古屋などでDFとしてプレーした西ヶ谷隆之監督が就任し、ボールを奪ってからの素早い攻撃も徹底しており、「関東相手にどれだけできるか試したい」との言葉に自信がうかがえる。

札幌大は、堅固な組織守備と鋭いカウンターで8強入りした昨年のメンバーが主力の半数を占め、実質的にチームを指揮する古川毅コーチは「2年目の上積みがあり、戦術が浸透してきた」という。粘り強い守備はある程度計算できるだけに、勝利の鍵は攻撃陣にある。両サイドハーフのMF⑦清原圭介(4年)、MF⑩後藤裕樹(3年)は、ともに縦への飛び出しが持ち味で、1トップのFW⑨金田拓也(3年)がスピードでかき回す。古川コーチは「今年は色んな選手で得点できる。W杯でも番狂わせが起きているので、そういう存在になりたい」。虎視眈々と上位を狙っている。

(読売新聞大阪本社 運動部 山口 博康)



提供：中京大学



提供：札幌大学

流通経済大学 VS 福岡大学 18:00 KICK OFF

ともに高い攻撃力を誇る、優勝候補同士の対戦だ。前回王者の福岡大は、日本代表のサポートメンバーとしてワールドカップ南アフリカ大会に帯同したFW⑩永井謙佑(4年)をはじめ、現在、九州大学リーグ得点王(10点)の⑩石津大介(3年)、司令塔もこなす⑧清武功暉(2年)、身体能力の高いFW②田中智大(2年)とFW陣が充実。前回優勝メンバーのDF④傘田雄祐(2年)、身長192cmのGK②大森圭悟(1年)はともに各世代の日本代表でもあり、乾真寛監督は「連覇を狙える戦力」と自信を見せる。

流通経済大も、攻撃力ではひけをとらない。FW⑩武藤雄樹(4年)は、豊富な運動量とタイミングの良い飛び出しが持ち味。日本代表サポートメンバーに選ばれたDF③山村和也(3年)は、自陣から正確なロングパスを供給できる。中野雄二監督が、攻撃の核と期待するドリブラーのMF⑩河本明人(2年)も足の故障が癒え、時間制限を設ければプレー出来る見通しとなった。関東大学リーグ3度優勝の強豪も、故障者が相次いだ前期は9位と低迷。それだけに総理大臣杯にかける意欲は高く、中野監督は「1回戦が一番のヤマ場。乗り越えて3年ぶりに王座を奪還したい」と話す。

(読売新聞大阪本社 運動部 山口 博康)



提供：流通経済大学



提供：福岡大学

鹿屋体育大学 VS 慶應義塾大学 15:30 KICK OFF

慶應義塾大が12年ぶり(7度目)に総理大臣杯の舞台に戻ってきた。昨年に関東大学リーグ1部復帰を果たし、2年目の今年は前期6位。レギュラー中、4年生は多くて3人という若いチームながら、しっかりと走る自分たちのサッカーを追い求める中で、ゲームをコントロールすることができるようになった。4-3-3の基本布陣で、MF⑩河井陽介(4年)がトップ下で試合を操る。「ボールを失わず、起点になれる」と就任4年目を迎える李宇諤監督。センターバックとしてDFラインを統率する主将の④三上佳貴(4年)はバランスコントロールに能力を発揮する。李監督は「相手よりも自分たちがしっかりと走る」と初戦を前に気を引き締める。

5年ぶり8度目の鹿屋体育大の目標は日本一。「(同じ九州の)福岡大が昨年の総理大臣杯優勝、全日本大学選手権で準優勝なら、当然、そこまではいきたい」と、井上尚武監督はライバル心を燃やす。2トップの一角、FW⑨岡田翔平(3年)は決定力があり、相手DF裏に飛び出すのが得意で運動量も豊富。「先行逃げ切りを目指したい」という井上監督が、頼りにする存在だ。センターバックには183cmの長身⑤坂井達弥(2年)をボランチから回す案もある。「全国大会用の布陣」と井上監督。MF⑩桃井宏和(2年)、MF⑫小森啓一郎(4年)らを擁する攻撃的なサッカーで、全国に挑戦する。

(読売新聞大阪本社 運動部 河村 真司)



提供：鹿屋体育大学



提供：慶應義塾大学

同志社大学 VS 仙台大学 18:00 KICK OFF

同志社大にとって、この1年間の成長が問われる大会だ。13年ぶりの出場だった前回は、1回戦で優勝した福岡大に2-1で敗れた。「地に足がついていない状態で、前半が終わった」と望月慎之監督。J1川崎入りした楠神順平を擁したが、チーム力を結集しきれなかった。今季は突出した選手がいない反面、ボールをつなぐ意識は高く、望月監督は「流れをつかめなくても、集中力が切れない」。滋賀・野洲高出身のMF⑧荒堀謙次(4年)、左サイドバック②林佳祐(4年)は突破力もあり、チームとしての完成度は高い。

仙台大は全国大会ベスト4を目標に掲げ、指導体制を一新。監督には、昨季まで宮城・仙台育英高を率いた吉井秀邦監督が就任した。敵陣から素早いプレスをかける守備にも取り組み、より攻撃的なチーム作りを進めてきた。得点の鍵を握るのが、FW⑨奥埜博亮(3年)と左サイドバックで主将の⑩和泉隼(4年)。奥埜は身長171cmと小柄だが、当たり負けせず、ボールキープも巧み。和泉は切れ味鋭いドリブルが持ち味のアタッカーだ。吉井監督は「全国で、どこまで攻撃的なサッカーが出来るか挑戦したい」と意欲を見せる。

(読売新聞大阪本社 運動部 山口 博康)



提供：同志社大学



提供：仙台大学

第34回 総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント

2010年7月4日(日) 1回戦

@堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンターメインフィールド



高知大学 V S 関西学院大学 15:30 KICK OFF

昨年準優勝の高知大は、9人のレギュラーが残った。攻撃力が自慢だが、野地照樹監督は「全国大会では守りを重視する」と強調。しっかりと守って、カウンターを狙う考えだ。守備は、センターバックの③實藤友紀(4年)が中心になる。教育実習に加え、特別指定選手としてJ1川崎フロンターレの合宿に参加したことで、6月に約4週間チームを離れたことで、連係に不安が残る。⑩布施祐典と⑭芝野創太の2トップ、右MF⑦香川大樹の4年生3人が連動して得点を奪いたい。野地監督は「個人の能力が高い関東や関西の強豪校を、地方の国立大学が組織力で倒したい」と意気込む。

関西学院大は、「ひたむきに走って頑張る選手が多く、運動量には自信がある」(成山一郎監督)。攻撃では、身長185cmの⑨村井匠(4年)、180cmの⑯山内一樹(2年)の2トップが軸。高さがあるだけに空中戦に強く、チームは時間をかけてセットプレーの練習を積んできた。今季序盤は、守備に不安があったが、ようやく整備されてきた。関西リーグ前期は5勝3分け3敗で7位と低迷した原因も守備の乱れだったが、前線からプレスをかけるなど全員守備の意識が浸透してきたことで安定感が出てきた。

(読売新聞大阪本社 運動部 清水 裕)



提供：高知大学



提供：関西学院大学

環太平洋大学 V S 駒澤大学 18:00 KICK OFF

初出場の環太平洋大が、2年連続13度目出場の駒澤大に挑む。環太平洋大は開学4年目で、今年ようやく全学年がそろった。チームを率いて3年目の桂秀樹監督のもと、中国1部リーグに昇格した今季の目標は「全国大会1回戦突破」。しっかり後ろからつなぎ、パスを回して試合を組み立てるサッカーを目指す。基本布陣は4-3-3。得点源のFW⑩森川龍誠(4年)は突破力十分で、1人でドリブルから点が取れる。「DFに若干の不安がある」(桂監督)が、千葉・八千代高で選手権4強を経験したGK①植田峻佑(4年)が、後ろからのコーチングでDFラインを整える。桂監督は「積み上げてきたものを変えるつもりはない。どれだけ自分たちの力が全国トップの相手に通用するか」と対決を心待ちにする。

対する駒澤大・秋田浩一監督は「まじめにDFからしっかりやること」と平常心を強調する。中盤をダイヤモンドに組む4-4-2の布陣は、今年正月の高校選手権を制した山梨学院大付属高出身のMF⑭碓井鉄平(1年)をトップ下に据える。ワンボランチのMF⑥金正也(4年)は1対1にも強く、183cmと高さもある。「総理大臣杯は過去2回、2回戦で敗れているので、そこを突破してのベスト4が目標」と秋田監督。第26回大会から3連覇の経験もある強豪が、ひたむきにボールを追う姿を取り戻せば、怖い存在になりそうだ。

(読売新聞大阪本社 運動部 河村 真司)



提供：環太平洋大学



提供：駒澤大学

Together

～ Win of team, Yell message ～

夏の大学サッカー日本一決定戦、総理大臣杯！！

代表チームへ・・・

チームメイトから、そして、地区でともに戦った仲間から、

“エール”が集まります

ぜひ会場でその想いを共有してください！！(--)！！



スタジアムには
いろいろな
想いが
あふれる・・・



全16代表、チームストラップ発売！

～ご観戦の記念に・・・～



まずは、ゲートにGO !!



～ご来場の皆様へ～

試合のメンバー表は原則として関係者のみへ配布しています。

ご来場の方々全員への配布は出来ません。

メンバー表はゲート付近にも掲示しており、また、試合前やハーフタイムにも放送しております。

お手持ちのプログラム等をご活用頂き、予めご了承くださいませようお願いいたします。

関西学生サッカーの聖地作り・・・それがわたしたちの夢。



関西学生サッカー未来・夢倶楽部

わたしたち、関西学生サッカー連盟は学生の、学生による、学生らしいサッカー、をモットーに、
清々しさ、若々しさ、ひた向きさ、を目指しています。

このような様々な思いを抱いてプレーし、想いを表現できる自分たちのピッチがあればいいなど
夢見ています。

わたしたち、関西学生サッカー連盟はホームスタジアム(仮称Sスタジアム)を持つという目標を
「未来・夢構想」としました。

わたしたちの未来・夢構想に賛同協力して頂ける支援者を求めています。

支援者の集まりを「関西学生サッカー未来・夢倶楽部」と名づけました。

どうか支援者として未来・夢倶楽部に仲間入りして頂くようお願い申し上げます。

Sスタジアムに行けば関西学生サッカーが見られる。
Sスタジアムに行けば関西学生サッカープレーヤーに会える。
Sスタジアムに行けば好きな大学チームのゲームが見られる。
Sスタジアムに行けばサッカー仲間に出会える。



スタジアムに行けば仲間に出会える！

未来・夢倶楽部会員はいつでも観戦無料

詳細は入場ゲートにて！



大会プログラム好評発売中！！ ～選手情報が満載 1冊1,000円～
前売りチケット発売中！！ ～準決勝以降は有料。ゲートにて絶賛発売中～

